

(様式)

令和5年度 硬式テニス部の指導方針等について(5/8版)

令和5年5月8日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	内田直史			
副顧問	井上真理			
副顧問	大島浩			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。(自主・創造・探究)
- (2) 競技大会等の具体的到達目標  
東京都大会本戦出場を目指し練習に励む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
地域の中学校との交流を図るとともに、大会補助にも積極的に参加する。(開拓・貢献)

3 指導方針

- (1) 練習時間  
ア 活動時間については、長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日(休日を含む)及び長期休業中は3時間程度とし、モチベーションを高くもち、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。  
イ 休養日は、原則週2日とし、休養及び睡眠のバランスの取れた生活を送ることができるよう、健康管理を徹底する。  
ウ 長期休業中の休養日についても、イに準じた扱いを行う。また、ある程度の休養期間を設定する。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1～2回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止

生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

専門的な指導ができる外部指導員の活用を考慮していく。

※ 4 (1) から (3) までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 東京都高校テニス選手権大会（個人）
	5	東京都高校テニス選手権大会（団体）
	6	保護者会
	7	東京都立対抗テニス大会（団体）
	8	部内戦
2 学期	9	東京都高校新人テニス大会（個人）
	11	東京都高校新人テニス大会（団体）
	12	フジカップ
3 学期	1	東京都立対抗テニス大会（個人）
	2	多摩西部硬式テニス対抗戦団体
	3	